

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年7月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893100024		
法人名	医療法人社団 健晴会		
事業所名	グループホーム 温泉大洗	ユニット名	1階 ユニット
所在地	〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町3446-8		
自己評価作成日	平成28年3月11日	評価結果 市町村受理日	平成28年8月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&JigyosyoCd=0893100024-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年4月12日	評価機関 決 済 日	平成28年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然あふれる静かな環境の中、ホームでは、入居者様は思い思いに生き生きと生活されております。理念にそって、その人らしく生活出来るよう必要に応じ援助をし、出来る事を大切にし共に協力し合い、ふれあいながら楽しみのある生活を送れるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営母体が協力医療機関となっており、週3回の訪問診療と週2回の訪問看護を受診しているとともに、緊急時には24時間連絡が可能となっているため、適切に医療を受けることができる体制となっていることは、利用者や家族等の安心につながっている。
入浴は天然の温泉源を購入して提供しているため、利用者の楽しみのひとつになっている。
事業所は職員にとってとても働きやすい環境となっているため、落ち着いた職員の対応が利用者の穏やかな笑顔に現れている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしさを尊重し、地域の方々と交流を深め笑顔で健やかに過ごせるように支援致します。」という理念に沿ってケアするよう努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を経営者や管理者、職員で作成し、事務室や玄関、各ユニット、職員の休憩室に掲示している。管理者と職員は、朝礼時や月1回の職員会議時に理念を確認し、共有しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を開催し、地域の方々と交流を深めるよう努めている。また、散歩や外出の際に、地域の方々と挨拶や会話を交わし触れ合っている。	事業所は毎年中学校の職場体験の場として提供しており、利用者が子ども達とふれ合う機会となっている。事業所主催の行事に地域住民を招待したり、ボランティアの受け入れや地域の運動会、敬老会等への参加をするまでには至っていない。	利用者が地域で暮らし続けるために、地域の行事や活動情報を得て参加したり、ボランティアの依頼や受け入れのほか、事業所の行事に招待するなど、地域住民との交流に取り組むことを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開催し、ホームの持っている現在までに養った知識や経験を伝えるよう努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	写真や資料を用い、日頃の取り組みを説明させていただいている。役場の方や民生委員の方の意見や考えを参考にし、日々のケアやサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は家族等の代表者や市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、地域住民、管理者、職員等で2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。事業所からは行事報告や利用者の状況報告、外部評価の結果や課題などを報告し、参加者と意見交換を行っている。家族等からの要望を受け、毎月外出支援を行うようにしたり、散歩や買い物を日常的に行うようにするほか、時間を決めて玄関の解錠を試みるなど、意見等を運営に反映している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場の介護保険課の方との連携を深めるよう努め、必要な書類等の提出や運営推進会議を通じて、情報の提供や意見の交換を行い、サービスの向上に努めている。	管理者は直接市窓口に出向き、要介護更新申請や入居状況の報告をするほか、市担当者からは入居者の紹介を受けたり、講習会の案内やマイナンバーについて説明してもらうなど、協力関係を築いている。 介護相談員を受け入れており、生活保護受給利用者の情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベットの柵の使用をしない事などはもちろん、入居者様それぞれが、自由に暮らせるよう心がけている。玄関のカギに関しては、ホームが道路に面していることもあり、施錠させていただいている。	身体拘束排除に向けた研修を半年に1回程開催し、研修ノートに記載して全職員で閲覧できるようになっている。 落下などの危険がある利用者には、クッションやベッドマットを活用して危険回避するなど、身体拘束をしないケアに努めている。 玄関はオートロックとなっており、1階と2階の出入り口は施錠している。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備えた家族等への同意書はあるが、経過観察記録や再検討記録を整備するまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束を行う場合には、家族等に同意を得るとともに、「経過観察記録」や「再検討記録」を整備して職員等で定期的に検討することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成し、勉強会を行い、知識や理解を深める事で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性について話し合いをもうけ、必要があれば制度を活用していけるように努力する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に丁寧に説明するよう心がけ、疑問点等解消されるまでお話しさせて頂き、納得が得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会に見えた際、管理者が対応し、直接お話ししたり、玄関に意見箱を置くなどしている。	重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記し、契約時に家族等に説明している。 月1回家族会を実施しているが、家族等の参加は少なく、玄関に意見箱を設置してアンケートを置いているが、活用されるまでには至っていない。	意見や要望を広く収集するために、全員に無記名の家族アンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう心がけるとともに、申し送りや会議、交流会にてスタッフの意見を聞き、反映させている。	管理者は週1回の職員会議時に職員の意見や提案を聞く機会を設けているほか、休憩時間にコミュニケーションを図り、日頃から何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員からの要望を受けて、浴室に時計を設置したり、利用者によっては2人介助とするなど、職員意見を運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交流会を開き、スタッフが意見を話しやすい環境を作っている。また、就業規則をスタッフがいつでも見る事が出来る場所に置いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への積極的な参加を勧めるとともに、資格取得を応援している。また、日々の中で、知識・技術の指導に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の講習会に積極的に参加するよう取り組み、同業者や関係機関との情報交換の場とし、質の向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に対応していけるよう、表情や言動、しぐさに気を配り、本人のペースに合わせ、ケアするよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様ご本人だけでなく、ご家族の話にも耳を傾け、不安を拭えるよう、丁寧に説明するよう心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望の理由や、心身の状態をふまえ、本人と家族にとって、必要な支援を検討し、対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様それぞれが、得意分野での力を発揮して頂く事で、自信を持ち、いきいきと生活して頂けるように、家事や花の手入れ・家庭菜園など、積極的に参加出来る環境づくりに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に見えた際や電話にて連絡を取り合い、共に支援していく関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩やドライブにて馴染みの場所に行ったり、友人の方に面会に来ていただいたりしている。	入居時に利用者や家族等から聴き取ったフェースシートやアセスメントシートのほか、日常会話や家族等の話などから、利用者の馴染みの人や場所の把握に努めている。 地元の理・美容師が2ヶ月に1回来訪している。 家族等や知人の来訪時にはお茶を出して接待したり、利用者の馴染みの理・美容室やお店での買い物、墓参り、外食など、家族等の協力も得ながら、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士、良好な関係が築けるよう、レクリエーションを取り入れたりし、スタッフが橋渡し役となるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても相談していただけるよう取り組んでいる。さらに相談しやすい環境作りに取り組んでいきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族やご本人から思いを聞き、また、困難な場合は表情やしぐさから察し、本人本位のケアをするよう努めている。	管理者と職員は、利用者との日常の関わりの中から一人ひとりの思いや希望を把握し、申し送りノートや個人記録、ユニット会議などで共有している。 意志の表出が困難な利用者には、家族等の来訪時に話しを聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、管理者と職員で相談しながら、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族の方から生活歴やサービス利用についてお聞かせ頂き、スタッフで共有できる場所に保管し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や心身の状態について記録し会議や申し送りにて情報を共有することで現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを通して、情報を共有し、本人のニーズに沿ったケアが出来るよう努めている。	介護計画は利用者の意向や家族等からの要望、医師の意見、職員の意見などを取り入れて計画作成担当者が作成し、家族等に確認を得ているが、来訪のない家族等には電話で要望等を聴いて、郵送でやりとりをしている。 3ヶ月毎にモニタリングを実施し、短期目標は3ヶ月長期計画は6ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時モニタリングを行い、見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践について個別に記録し、申し送りや会議にて話し合い、よりよいケアを提供できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人のクリニックと連携し、多くのニーズに対応出来るよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	慣れ親しんだ地域の中で、本人らしく生活出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人のかかりつけの医療機関を把握し、必要時には、家族と連絡を取り、迅速な受診を心がけている。	契約時に利用者や家族等の希望するかかりつけ医への受診が可能であることを説明し、確認を得ている。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本とし、付き添えない場合には管理者が対応している。 週3回協力医療機関の医師による訪問診療と週2回訪問看護があり、受診結果は家族等に電話で報告するとともに、個人記録や申し送りノートに記載して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人のクリニックの看護師と密に連絡を取り、適切な対応が施されるよう協力体制を築いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のケースワーカーさんと連絡を取り合い、早期退院出来るよう努めている。近隣の病院との関係づくりにも努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人やご家族の意見を大切にし、医師や看護師・関係各所とも連携を図り、考えを共有し支援するよう努めている。	契約時に「重度化した場合における（看取り）指針」で利用者や家族等に説明して同意を得ている。 事業所での看取りの経験は1例あり、利用者や家族等の希望があれば協力医療機関の医師や訪問看護ステーションの看護師と24時間連携体制が取れており、看取り介護を支援する方針となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を開き、知識、技術の向上に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練や勉強会を通じ、いざという時に対応出来るよう努めている。地域との協力体制は今後強化していく必要がある。	避難訓練は夜間想定を含めて同一法人と合同で年1回、事業所独自に年1回実施しているが、地域住民の参加を得るまでには至っていない。 避難経路図と緊急連絡網を作成するとともに、火災時には火災通報装置と職員の携帯電話が連動しており、順次連絡が入るシステムとなっている。 訓練後に反省点や今後の課題などを話し合って記録に残しているほか、災害に備えて米や水、食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布などを一覧表を作成して備蓄している。	運営推進会議などを通して地域住民に避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の生活歴や性格の把握に努め、尊厳を損なわせることのないよう、丁寧に接するよう心がけている。	職員は利用者一人ひとりを人生の先輩として敬い、人格を尊重するとともに、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は、施錠できる書棚に保管し、取り扱いに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	例えば、レクリエーションの際、何種類か用意し、好きな事をしていただいたり、スタッフが押しつけることのないよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や食事、排泄、行事やレクリエーションの参加等出来る限り、ご本人が意思決定出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく、クシや髭剃りを置いておいたりし、オシャレに興味を持つようにしたり、ご自分で行うのが困難な方に対してはお手伝いするようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭菜園にて野菜と一緒に育てたり、収穫したものを提供している。お膳を下げるなど出来る事をお手伝い頂いている。	食材は宅配業者を利用し、苦手な食材の場合には代替え食を用意したり、自家菜園で収穫した旬の野菜を取り入れながら、職員が利用者の状態や嗜好に合わせて調理している。 おせちや雛祭り、クリスマス会、誕生会、母の日などに行事食を提供し、食事が楽しみなものになるよう支援している。 利用者はできる範囲で野菜の皮むきやテーブル拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	十分な水分量が摂取できるよう、様々な飲み物を提供している。状態に応じ、飲みやすいコップにしたり、とろみをつけたりと対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの能力に応じ、ケアするよう努め、必要時には歯科受診している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を作成し、もれなくチェックすることで排泄パターンの把握に努めている。パットやオムツの使用については、ケアカンファレンス等を通じて見直すよう心がけている。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、さり気ない声かけや時間の誘導により、トイレでの排泄ができるよう支援している。 トイレには手摺を設置して、使用し易いよう工夫をしている。 おむつ使用の利用者でも、夜間は居室にポータブルトイレを置いて排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がもたらす日常生活への影響を重く捉え、体操やレクリエーションを行い、身体を動かして頂くと共に病院と連携し、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分に留意し、無理強いする事なく楽しく入浴できるよう努めている。	入浴は週2回午前を基本とし、その他に週1回清拭かシャワー浴を行っているが、利用者の希望によっては毎日入浴ができる体制となっている。入浴を拒む利用者には、声かけする職員や時間帯、ユニットを変えるほか、清拭や足浴などで対応している。事業所では、利用者が温泉気分を味わえるよう、週2回温泉水を購入し、入浴をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を特に決めず、好きな時間に眠っていただくようにしている。また、日中、レクリエーション等により、活動的に過ごして頂く事で、夜間ゆっくりと眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報書をファイルにとじ、スタッフの目につく所に保管するとともに、薬が変わった際には、申し送りを徹底し把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴や好みを尊重し、一人一人の出来る事や能力を見極め日々の暮らしの中で力を発揮し、生活出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の方にご本人の希望をお伝えし、外出や外食にご協力いただいている。また、年間行事等で、外出の機会をつくっている。	天気の良い日には、利用者と職員は事業所周辺を散歩している。 年間行事計画を立てて、車いす利用者も一緒に車で出かけたり、家族等の協力を得て外出を支援している。 利用者は職員と一緒に事業所裏の自家菜園で野菜の栽培を楽しみ、収穫した野菜は日々の食材に取り入れている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については、トラブル防止のため、ホームにて行っている。買い物等で金銭を必要とする時は家族と共にお出かけして頂けるようお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	暑中見舞いや年賀状を出す際に、字を書くのが困難な方には一緒にペンを持ち書いたり、代筆している。電話に関しても番号を押してさしあげたりし、対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には明るく落ち着いた雰囲気を作り、季節の花を置き、毎日の掃除により、いつもきれいな清潔感のある場所となっている。	玄関では金魚が飼われ、季節の花や観葉植物が飾られており、職員の顔写真を掲示してある。 居間兼食堂にはソファや昔ながらの筆筒を配置し、落ちるける雰囲気となっているとともに、一角には段差のない畳スペースがあり、利用者が寛げる空間となっている。 利用者と職員で制作したその季節に合った作品を壁に掲示している。 居間やトイレ、浴室などはいずれも清潔に保たれ、利用者が気持ちよく生活できるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローの中に畳の間があり、また、窓際に、椅子を配置したりと工夫し、その時の気分に合わせ、生活を送れるよう工夫している。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットやタンスは備え付けであるため、他のもので、馴染みのものがあれば、ご家族に頼み持ってきていただいたりしている。 居室にはエアコンやベッド、カーテン、整理箆、寝具、テレビ、床頭台などが備え付けられているが、寝具は利用者の使い慣れた物を自宅から持ち込んでいる利用者もいる。 ライターや貴金属、金銭、仏壇、携帯電話等の持ち込みは禁止だが、利用者は家族等と相談しながら、使い慣れたラジオや冷蔵庫、アイロン、電気毛布などの電化製品や家族の写真、手作りの作品など、思い思いの物品を持ち込んで居心地よく暮らせるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様が過ごしやすいよう、且つ、家庭生活として不自然にならないよう心がけている。例えば、風呂の入り口に暖簾をかけた り、逆に紛らわしいものは置かないように配慮している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム温泉大洗

作成日 平成28年7月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所主催の行事に地域住民を招待したり、ボランティアの受け入れや地域の運動会、敬老会等への参加をするまでには至っていない。	地域で暮らし続けるために地域の方々と交流が出来るように支援する。	2ヶ月に1回訪問理美容が来所したり、散歩や行事の際に地域の方々と会話を交わしたりと交流出来るように努める。	3ヶ月
2	10	運営等に意見や要望を反映するため、意見箱を設置しているが活用までには至っていない。	職員等が積極的に入居者様及びご家族様とコミュニケーションを図り、意見や要望を反映出来るように支援する。	面会時等にコミュニケーションを図り、その中に含まれる意見や希望等を吸い上げ、対応できるように努める。	6ヶ月
3	35	避難訓練において、地域住民の参加を得るまでには至っていない。	避難訓練の際、地域住民への参加、協力を得るように検討する。	運営推進会議などを通し地域住民に避難訓練参加を呼びかける。	12ヶ月
4	6	やむを得ず身体拘束を行う場合に備えた同意書はあるが、経過観察記録や再検討記録を整備するまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束を行う場合には家族の同意を得ると共に、経過観察記録や再検討記録を整備し定期的に検討する。	やむを得ず身体拘束を行う場合のために、経過観察記録や再検討記録の整備することを検討する。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。